

鉄西まちづくり学生推進委員会の取り組み

鉄西まちづくり学生推進委員会 会長 よし ぎき ゆう 吉崎 雄

はじめまして！鉄西まちづくり学生推進委員会で、会長を務めている吉崎雄と申します。

私は高校生の頃、インターネットの動画サイトでYOSAKOI演舞を見て、創作ダンスの参考としていた時期がありました。繰り返し見ているうちに自分もやってみたいと思うようになり、大学に進学後、今所属しているサークル『テスク&祭人(まつりんちゅ)』に入ったのですが、これが私と鉄西まちづくり学生推進委員会との出会いとなりました。

神奈川県出身の私は、鉄西地区が札幌市内のどの辺りを指すのか知りませんでしたし、地域にどのような活動があるのか、もちろん分かりませんでした。しかし、委員会での活動を通して、鉄西地区に深く関われば関わるほど、この街を好きになっていったように思います。

私たちの委員会は、『テスク&祭人(まつりんちゅ)』と『北海道大学“縁”(えん)』という、二つのYOSAKOIチームから構成されており、会長以下全員が学生です。平成19年に立ち上げられて以来、10年以上にわたって活動を引き継いできました。例年の活動メニューは大体決まっていますが、毎年担当者が変わり、少しずつ内容の見直しを図っています。前年よりも良いものにしたという気持ちが、活動への励みにつながっていると思います。

同時に、鉄西連合町内会の青年部にも所属しており、役員の方々と協力しながら、鉄西地区を盛り上げる活動に、年間を通して取り組んでいます。

春は、新入生を迎えた5月中旬、「鉄西披露会」と称して、二つのYOSAKOIチームが合同で演舞を発表しています。地域の方々に、学生の元気をプレゼントしたいという思いから、いち早く

新年度の演舞を披露しているもので、自分たちもYOSAKOIソーラン祭りに向かう気持ちを高めています。同時期に、地域の町内会の呼びかけに応じ、様々な行事の会場になる「さつき公園(北11条西2丁目)」周辺の清掃や花植えにも参加しています。



夏は、7月中旬に「鉄西夏まつり」があり、設

◆鉄西まちづくり学生推進委員会の取り組み

営や出店のスタッフとして大勢の学生が従事するとともに、ステージではYOSAKOI 演舞を披露しています。

秋は、例年9月上旬、地域の更なる活性化に貢献したいという願いから始まった「もっとにっこり!! 鉄西秋祭り」を主催しています。平成30年度は、9月6日未明の北海道胆振東部地震の影響が大きく、やむなく中止としましたが、毎年、学生がゼロから企画を立ち上げ、準備や運営を行っている、手作りの祭典です。また、この時期は、鉄西地区コミュニティネットワーク会議に参加し、子ども安全マップづくりのサポーター役として、小学生と一緒に街歩きをします。このほか、諏訪神社のお祭りの機会に、子どもたちがお神輿を担ぎながら地区を一周する「鉄西子どもみこし会」に協力しているなど、大人だけではなく子どもたちとも一緒になって活動しています。



冬は、2月上旬に、子どもたちに雪中宝探しやソリ遊びなどを楽しんでもらう「鉄西わくわく子ども雪遊び」を主催しているほか、さっぽろ雪まつりにも雪像制作という形で携わることで、鉄西地区の活気を、地区外に積極的にPRしています。



ここまで主な年間活動をご紹介しましたが、平成30年の北海道胆振東部地震の際は、避難所となった北九条小学校でボランティア活動も行いました。町内会役員の方々のお手伝いをする中で、支え合いの大切さを学ぶことができましたし、普段お世話になっている地域の皆さまへの恩返しにもなり、とても良かったと思います。また、JR札幌駅から近い地区のため、観光客の方も多く避難されていましたが、たくさんの方から謝意を伝えてもらったことが印象に残っています。

鉄西地区は、区域内に北海道大学の構内を含んでおり、学生が特に多く住んでいる地区の一つですが、こうして活動に取り組むことは、学業以外にも多くのことを学べる貴重な機会になっています。様々な活動を通してクリエイティブな発想を養えることやイベントを一つ一つ終えた時の達成感・充実感を味わったことは、今後私たちが社会に出たとき、大きな力となるに違いありません。

このような経験を重ねることができるのは、鉄西連合町内会や様々な地区組織の方々、鉄西まちづくりセンターなど、多くの支えがあるからこそです。この紙面をお借りして感謝の気持ちをお伝えしますとともに、ぜひ後輩たちにも同じように経験させていただけますようお願いをいたします。

これからも、鉄西まちづくり学生推進委員会の活動に、ご理解とご支援のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

○お問い合わせ

鉄西まちづくりセンター

TEL. 011-726-5285